

会議議事録

会議名	2021 年度第 2 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会
開催日時	2022 年 2 月 8 日 (火) 10:00～12:00
場所	オンライン (会議室)
出席者 (敬称略)	① 外部委員：篠原陽子 (一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター事務局長)、三上真理子 (株式会社ツルハ人材採用部係長) (計 2 名) ② 本校委員：橋本正樹 (校長)、中村博臣 (くすり・調剤事務科学科長)、渋谷大樹 (くすり・調剤事務科教員)、結城久美子 (くすり・調剤事務科教員)、宮下明久 (事務局参与) (計 5 名) ③ 事務局：土屋瑠美子 (合計 8 名)
欠席者	なし
配付資料	事前送付：□資料 1：2021 年度第 1 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会議事録、□資料 2：2021 年度第 1 回委員会以降の主な経過報告 別添 A：2021 年度後期授業アンケート結果、資料 3：2022 年度生カリキュラム (くすり・調剤事務科)
委員長	中村学科長
議題等	1. 校長挨拶 橋本校長より、新型コロナウイルスの感染拡大については、第 6 波となる感染者の急速な増加により予断を許さない状況が続いている。 本校の教育活動としては、1 月後半からの授業は急遽原則オンラインに組み替えたが、その前までは適宜オンライン授業の日を組み込みながら原則対面授業を実施した。 3 月に卒業する 2 年制学科の学生たちは、コロナ禍の中で満足のいく学校生活が送れなかったことを残念に思っている。今後も新型コロナウイルスと共存しなければならない状況下で企業や医療機関、福祉施設等に就職する学生たちには、感染防止の最新の知識を持って、それぞれの職場において自信を持って仕事に臨んでほしい。 しばらくは判断の難しい教育上の問題も発生することと思うが、委員の皆様には、くすり・調剤事務分野の仕事の現在と将来に関する専門家の視点からの貴重なご意見と、本校のカリキュラム等へのご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。 2. 前回委員会議事録の確認 (資料 1 参照) 中村学科長より前回の議事録について諮ったところ、修正意見はなく、原案のとおり確認された。 3. 2021 年度の活動報告等について ・2021 年度第 1 回委員会以降の主な経過 (資料 2 参照) 中村学科長より、資料 2 に基づき説明が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のと

	おり。 4. 2021 年度第 2 回委員会での討議、アドバイス 中村学科長より、以下の 4 点に関する取り組み内容について報告が行われ、確認、了承された。詳細は別紙のとおり。 (1) 薬店実習内容のアドバイス（資料 2:8、薬店実習を参照） (2) 登録販売者試験の合格向上のためのアドバイス（科目、内容、方策など）（資料 2:7、2021 年度東京都登録販売者試験結果を参照） (3) 2 年後期で取り上げる科目のアドバイス（登録販売者試験、就職内定が終了した後） (4) 2022 年度カリキュラムについての説明（資料 3 参照） 5. 次回日程、その他 中村学科長より、次回の予定議題の説明及び日程調整が行われ、2022 年 7 月で調整することが決定した。 ○次回予定議題 (1) 2023 年度カリキュラム内容について (2) オープンキャンパスでの体験授業内容の充実のためのアドバイス（高校生が学びたい内容、卒業後に役に立つ科目およびその内容など、また業界における協会、企業の立場からも要望されるカリキュラムなどの観点から）
--	---

以上

2021 年度第 2 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

2. 前回（2021 年度第 1 回）委員会議事録の確認（資料 1 参照）

3. 2021 年度の活動報告等について

- ・2021 年度第 1 回委員会以降の主な経過（資料 2 参照）

○中村学科長より、資料 2 に基づき説明が行われた。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
職場体験は貴重な機会だと思う。オンラインでもグループに分かれて参加型の研修ができたことで、よい勉強になったのではないかな。 最近の学生は自分の意見をあまり言わないという話を聞くが、グループワークの中で積極的に話すことはよい体験になる。	オンラインによるグループワークのよさを実感した。

4. 2021 年度第 2 回委員会での討議、アドバイス

○中村学科長より以下の報告が行われた。

- ・先に(4)を説明し、その後全体についてアドバイスをいただきたい。

(4)2022 年度カリキュラムについて：

- ・2 年生のパソコン演習を復活させた。
- ・2 年生の登録販売者の科目について
 - ・医薬品応用の第 3 章（作用Ⅰ）（作用Ⅱ）を 2 つに分けて、3 人の先生で教えることにした。
 - ・医薬品応用の第 4 章（関係法規）と第 5 章（安全対策）は今まで一つの授業だったが、これを 2 つに分けた。
- ・1 年生の医薬品基礎の第 3 章を 4 つに分けて、科目数を増やしたい。
- ・病気とヘルスケアは、1 年生の前期で、病気・医療用薬品の理解のために続けている。
- ・漢方の知識では、1 年後期だけでなく、2 年生の前期にも設置し、苦手な漢方、生薬の補足説明をしたい。
- ・2 年生の後期は、就職も内定し、登録販売者の試験も終わっているため、集中力が落ちてくる。この時期に何を教えたらいかが、アドバイスをいただきたい。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
(登録販売者試験について) 合格率向上のためには、過去問題集を1問でも多くやる必要がある。シャッフルしたり、問題の出し方の順番を変えたりするとよい。 登録販売者試験の結果を分析した結果、医薬品を中心に強化することになったのであろうから、変更はよいと思う。 今年の2年生は2人受けなかった。来年は無理やりではなく、選択的なニュアンスを強めようかと思っている。 (パソコン演習について) パソコンはとてもよいと思う。最近はスマホに慣れているせいか、メール一つでも社会人としてどうかと思うものが多い。 今はメールのやりとりが多いので、それに対応した内容にするとよい。 (2年生後期のカリキュラムについて) 就職先が決まっている人が多いので、就職に向けてのサポートと捉えてはどうか。ドラッグストアと調剤薬局の二手に分かれるのもよいと思う。 介護レクリエーション演習はどんなことをしているのか。	過去問題をネット経由で解いて、スマホでチェックできるようなものをつくりたいと考えている。 問題を作成し、ランダムに表示させるのはGoogleフォームでもできるが、回答の見やすさや自分の現状を把握し、やる気を高めるとい意味では他社アプリのほうがよい印象を受けている。 ドラッグストアに勤務するには登録販売者の資格は必須になる。学生のうちに取っておくように重ねてアピールするとよいと思う。 メールのマナーなどは、授業だけではなくふだんのやりとりから指導していかなければならないと感じている。 パソコン演習でメールの文書等は指導しているが、できていない状況があるのでもう少し指導していきたい。 キャリアデザインⅣはほぼ就職のためのプログラムになっている。その中で職場でのストレス対策、医療用医薬品の説明などを行ってきた。 今後ハブステーションとしての機能をドラッグストアや調剤薬局が持つことを想定し、年配の方と手や体を動かして遊ぶなど、楽しみながら知識を得るような学習をしている。期末テストが検定試験になっており、合格すれば資格が取れる。

認知症を予防する運動を体験したり、高齢者の疑似体験をするのもよい。 ホームカミングデーは申し込み者がなかったということだが、授業の中で卒業生や異業種の方から話を聞く機会を取り入れてもよい。 グループワークを導入して、積極性を引き出す授業をするとよい。 モチベーションを高めるため、化粧品の成分学や販売士、介護関連の資格を取得できる科目を設置したが、うまくいっていない。 ドラッグストアでも美容商品に力を入れている。将来的には美容医療科とか美容医学科の設置を見据えて、美容の科目も増やしていきたいと思っている。	化粧品検定は昨年から急に増えている印象がある。この資格を取ってもらうことはよいと思う。 外面と内面の両方からの美容も登録販売者にとって勉強になってよいと思う。
---	---

以上